

日GUAM共同プレスリリース

2015年12月3日、ベオグラードにて第3回日GUAM外相級会合がOSCE外相理事会のマージンにて行われた。

GUAM側からエルマル・メメディヤロフ・アゼルバイジャン外相、ギオルギ・クヴィリカシヴィリ・ジョージア副首相兼外相、ナタリア・ゲルマン・モルドバ副首相兼外務・欧州統合相、パウロ・クリムキン・ウクライナ外相(議長)、ヴァレリ・チェチェラシヴィリGUAM事務局長が出席した。

日本側からは武藤容治外務副大臣が出席した。

双方は、日GUAM協力の促進につき強調したことに満足するとともに、国際場裡における協力や共通の利益を有する幅広い論点につき意見交換を行った。

双方は、それぞれの地域における平和、安定、繁栄を確たるものとすることを目的とした、より強化された日GUAM相互交流によって生み出される付加価値について強調した。

GUAM各国外相は、2015年7月16日に東京にて開催された第6回「GUAM+日本」会合のすばらしいアレンジについて、日本側に謝意を表明した。

双方は「日GUAM協力プログラム」に署名を行った。双方は、署名により日GUAM間の対話が深化し、日GUAM協力分野の拡大がより一層促進され、新しいプロジェクトと協力プログラムが生み出されることを確信する。

双方は、日GUAM協力及び地域・グローバルの幅広い課題を含むハイレベルの対話を継続させる用意と関心を再確認した。

次回の日GUAM会合の時期・場所については外交ルートを通じて調整される。